

ノブレクト™ 乳剤

Rinskor™ active

リンズコアの
様々な情報は
こちらから▶



登録番号：第24688号
有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル(通称：リンズコア) …… 2.1%
シハロホップチル …… 10.6%
規格：5ℓ×4本
危険物：第4類第三石油類

除草剤分類 1,4

水稲用除草剤

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アールあたり 使用量	総使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、セリ	移植後20日～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	薬量：250ml 希釈水量：100ℓ	本剤：2回以内 シハロホップチル：3回以内 フロルピラウキシフェンベンジル：3回以内	落水散布又は ごく浅く湛水して散布
直播水稲	一年生雑草及び ミズガヤツリ、 ウリカワ、セリ	稲3葉期～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで			乾田・落水状態で 雑草茎葉散布 又は全面散布

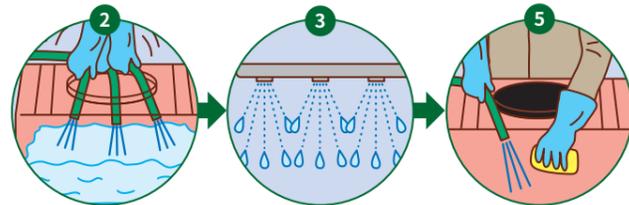
■上手な使い方

- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラなどには効果が劣るので、有効な除草剤と組合せて使用してください。
- 展着剤は加用しなくても十分な効果があります。
- 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがあります。乾田または落水状態で散布した際は早め(3日以内)に入水してください。
- 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合がありますが、収量に対する影響は認められておりません。

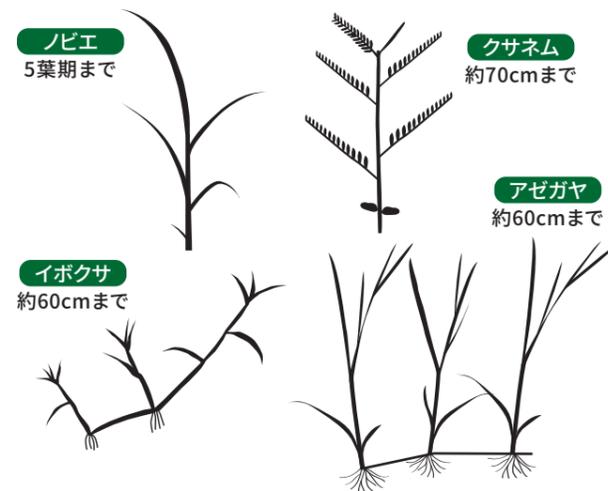
■ドリフト防止と散布器具の洗浄方法

- 散布時は、周辺作物に薬液が飛散しないよう十分注意してください。
- ノブレクト乳剤を使用した散布器具は、使用後速やかに以下の手順で十分に洗浄してください。散布器具内に残った薬液は、他の作物に影響を与えることがあります。

- 1 使用残りの薬液が生じないように調整し、使い切る。
- 2 タンク内壁を念入りに洗浄しながら、タンク容量の10%以上の水をためる。
- 3 ホース、ノズルから洗浄水を排出する。
- 4 2、3の作業を3回以上繰り返す。
- 5 散布器具の外部を丁寧に洗浄する。



■主な雑草の防除目安 早めの散布を心がけてください。



⚠ 使用上の注意

- 使用量にあわせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液は使用当日に調製してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布してください。
- 散布する際は、薬液が雑草に十分かかるような状態にして、水の出入りを止め、まきむらのないよう均一に散布してください。
- 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにしてください。
- 散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。マツバイは発生期、ミズガヤツリは草丈30cmまで、ウリカワは6葉期まで、セリは増殖期までに散布してください。
- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラには効果が低いため、それら雑草が混在する場合はそれらに有効な剤と組み合わせて使用してください。
- 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがあります。乾田または落水状態で散布する際は早め(3日以内)に入水してください。
- 薬害のおそれがある中で重複散布をさせていただきます。
- 薬害を生じるおそれがあるため、周辺作物にかからないよう十分注意してください。

- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ④稲の根が露出している水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の3葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけてください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合がありますが、収量に対する影響は認められていません。
- 散布機、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に洗浄し、洗浄液は河川等に流さず、環境に影響をあたえないように適切に処理してください。
- 空瓶等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合は、異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 危険物第四類第三石油類に該当するため、火気には十分注意してください。
- 火気や直射日光を避け、食品と区別して、低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。



理想の水田管理を、 あなたに。

ノブレクト™ 乳剤

Rinskor™ active

水稲用除草剤

- 2つの作用でノビエに安定した効果
- 直播栽培で問題となる雑草種に高い効果を発揮
- 優れた耐雨性とすばやい効果発現

技術資料

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

製造

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
山王パークタワー

https://www.corteva.jp/



取扱

本資料は2022年12月現在の知見に基づき、作成されています。



Visit us at corteva.jp
TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

2つの作用でノビエに安定した効果

有効成分① リンズコア™

リンズコア™(一般名: フロルピラウキシフェンベンジル)は、新たな骨格を有する合成オーキシンで、ノビエ、広葉雑草、一部のカタリグサ科雑草に高い効果を発揮します。本有効成分はオーキシン類似の作用により除草効果を示しますが、既存の合成オーキシンと異なる受容体に結合することが分かっています。このユニークな作用機構のため、従来のホルモン剤では効果が期待できなかったノビエに対しても高い活性を示します。日本においては同成分を含有する“ロイヤント乳剤”が令和2年に登録認可されました。

有効成分② クリンチャー™

除草剤クリンチャー™(一般名: シハロホップブチル)は、脂肪酸代謝経路を制御するアセチルCoAカルボキシラーゼ(ACCase)を阻害することにより、ノビエ、アゼガヤなどイネ科雑草に高い除草効果を発揮します。日本においては平成8年の登録認可以来25年以上にわたって、ノビエ防除の定番除草剤として水稲栽培に貢献してきました。

ノブレクト乳剤の効果発現の様子

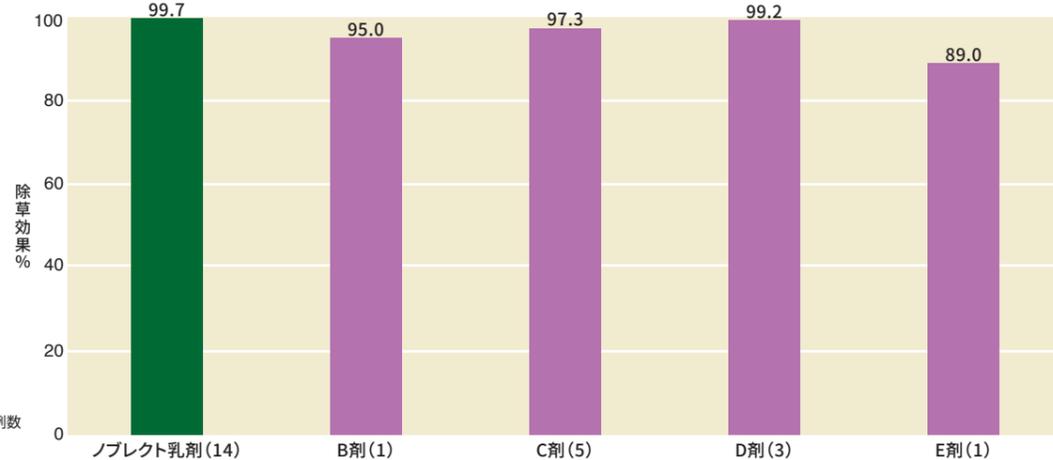
5葉期のノビエにノブレクト乳剤を処理すると、速やかにリンズコア由来の捻転症状とクリンチャー由来の黄化・褐変症状が現れ枯死します。



2021年(公財)日本植物調節剤研究協会 茨城
●雑草播種: 3月18日
●処理: 4月9日(ノビエ5葉期) 落水茎葉散布

ノビエ5葉期に対する効果

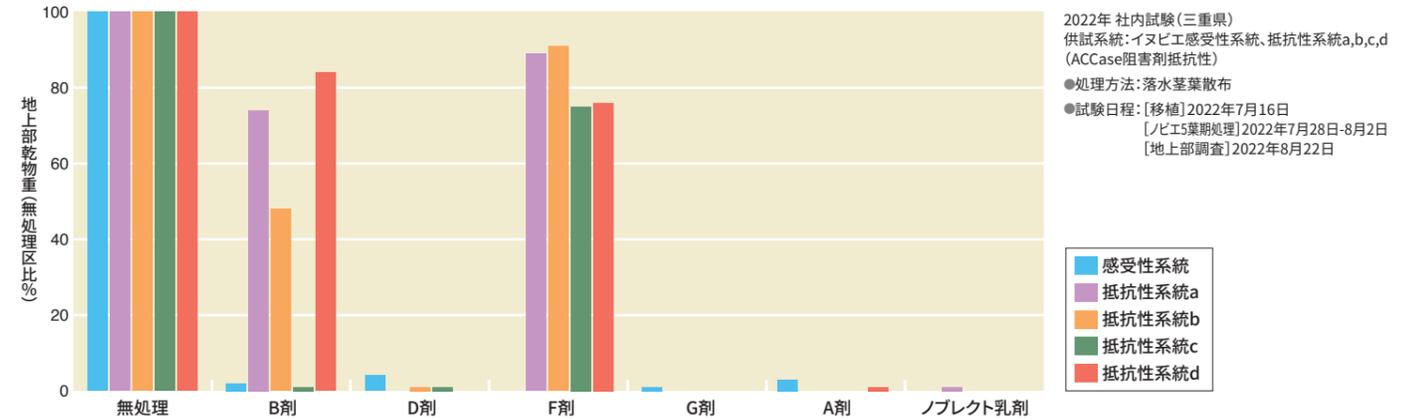
ノブレクト乳剤は5葉期のノビエに安定した高い効果を発揮します。



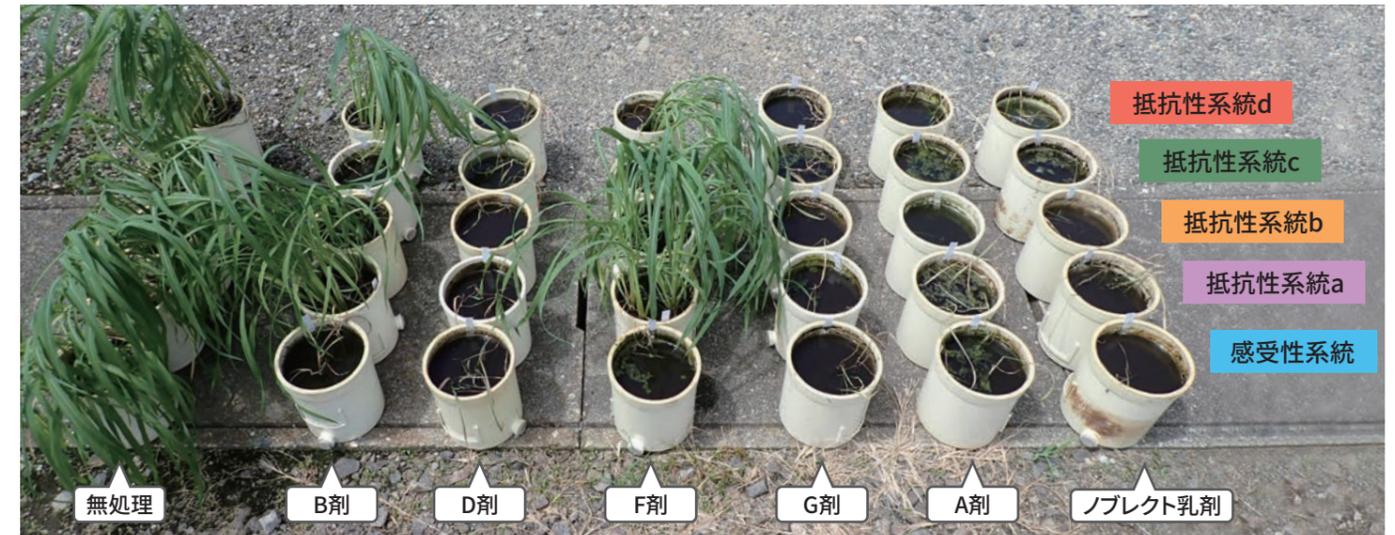
2020年、2021年(公財)日本植物調節剤研究協会委託試験
14例を集計した平均値、()内は各薬剤の試験例数
●処理時期: ノビエ5葉期

抵抗性ノビエに対する効果

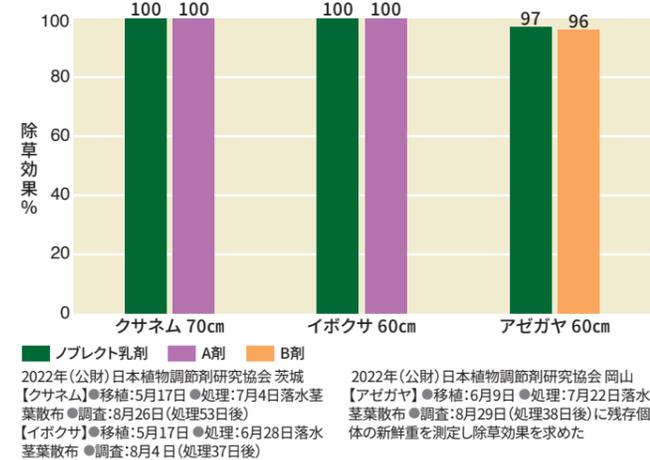
既存薬剤に対して抵抗性が確認されている系統のノビエに対してノブレクト乳剤は高い効果を示しました。



2022年 社内試験(三重県)
供試系統: イヌビエ感受性系統、抵抗性系統a,b,c,d (ACCase阻害剤抵抗性)
●処理方法: 落水茎葉散布
●試験日程: [移植] 2022年7月16日
[ノビエ5葉期処理] 2022年7月28日-8月2日
[地上部調査] 2022年8月22日



直播栽培で問題となる雑草種に対する効果

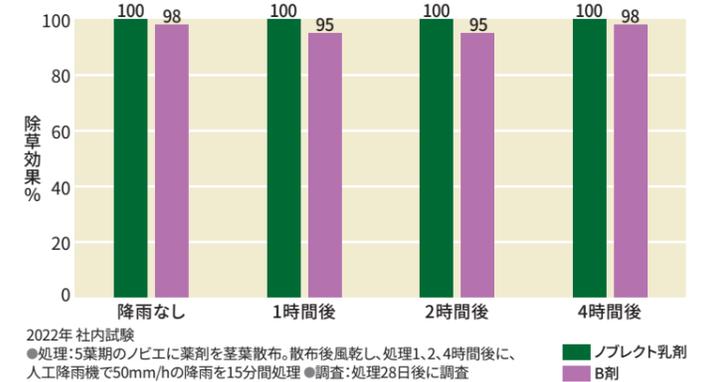


2022年(公財)日本植物調節剤研究協会 茨城
【クサネム】●移植: 5月17日 ●処理: 7月4日 落水茎葉散布 ●調査: 8月26日(処理53日後)
【イボクサ】●移植: 5月17日 ●処理: 6月28日 落水茎葉散布 ●調査: 8月4日(処理37日後)

2022年(公財)日本植物調節剤研究協会 岡山
【アゼガヤ】●移植: 6月9日 ●処理: 7月22日 落水茎葉散布 ●調査: 8月29日(処理38日後)に残存個体の新鮮重を測定し除草効果を求めた

耐雨性

ノブレクト乳剤を5葉期のノビエに処理し、その後降雨処理を行いました。降雨による除草効果への影響はありませんでした。



2022年 社内試験
●処理: 5葉期のノビエに薬剤を茎葉散布。散布後風乾し、処理1、2、4時間後に、人工降雨機で50mm/hの降雨を15分間処理 ●調査: 処理28日後に調査